

背景

- ① 広島土砂災害をはじめとした最近の土砂災害の教訓を踏まえた対策の強化(土砂災害防止法改正、中央防災会議土砂災害対策検討WG報告)
- ② 御嶽山噴火災害により得た教訓を踏まえた火山災害への対策の強化(中央防災会議火山防災対策推進WG報告)
- ③ 政府の危機管理組織の在り方に係る関係副大臣会合最終報告等を踏まえた複合災害に係る対策の強化
- ④ 最近の災害対応の教訓を踏まえた運用の改善
- ⑤ 実施主体の明確化や重複する記載の整理等

主な修正項目

① 土砂災害への対策の強化

1. 土砂災害の危険性のある区域の明示等

- 基礎調査を実施し、その結果を公表
- 調査結果の公表に当たって、警戒区域等に相当する区域を明示等

2. 土砂災害警戒情報の活用

- 土砂災害警戒情報、これを補足する情報(メッシュ情報)等を活用した避難勧告の発令範囲の設定等

3. 避難準備情報の活用

- 避難準備情報の発令による自主的な避難の促進等

4. 適時適切な避難行動等

- 災害に適した指定緊急避難場所へ避難すべきことを周知等

② 火山災害への対策の強化

1. 火山防災情報の伝達体制の強化

- 火山防災情報の登山者への情報伝達手段を多様化
- 噴火警戒レベルの引上げ等の基準の精査・公表等

2. 火山噴火からの適切な避難方策等の検討

- 退避壕・退避舎等の必要性を検討し、整備を推進
- 登山届の必要性を検討し、火山地域内で一体的に運用等

3. 火山防災教育や火山に関する知識の普及

- 登山者等に対する防災知識の普及啓発や訓練の実施等

4. 火山研究体制の強化・火山研究者の育成

- 火山研究人材の確保・育成のための人材育成プログラムの構築等

5. 火山監視・観測体制の強化

- 水蒸気噴火の兆候等の観測や研究等に努め、火山観測体制を充実等

③ 複合災害への対策の強化

1. 緊急災害対策本部と原子力災害対策本部の情報収集の一元化

- 両本部は相互に情報連絡要員を派遣、システムを相互利用

2. 両本部の意思決定の一元化

- 両本部の合同会議を開催

3. 両本部の指示・調整の一元化

- 緊急災害対策本部は、避難等のための輸送等の調整や通常の被災者支援を一元的に実施
- 原子力災害対策本部は、緊急災害対策本部に対して放射線防護対策に関する助言・支援を実施等

④ 最近の災害対応の教訓を踏まえた運用の改善

1. 実動組織間の調整

- 警察・消防・自衛隊等において合同調整所を設置
- 現对本部と地方公共団体の災对本部間の合同会議による情報共有等

2. 重要情報の集約・調整

- 都道府県による人的被害者数の一元的な集約等

3. その他

- 航空機を最も有効に活用するための運用調整の実施
- 応援部隊の投入のための道路交通規制等に関する総合調整の実施
- 災害時のヘリコプターの利用(ドクターヘリを含む)について予め協議
- 原子力災害対策指針の改正に伴う所要の修正等

⑤ 実施主体の明確化等

1. 各対策に関する具体的な実施主体の明確化

2. 共通編への集約による各編重複箇所の整理